

第65代理事長 退任のご挨拶



第65代理事長 佐々木信行

この度、一年間の任期を終え理事長を退任することとなりました。在任中は皆様方より温かいご支援とご厚情と賜りましたことを心より感謝申し上げます。

まもなく終わりを迎える平成最後の年に、また青年クラブでの現役生活最後の一年に理事長という大任を任され、気が引き締まる思いでクラブの運営に取り組んで参りましたが、何かと至らぬ点や反省すべき点が多々ありご迷惑をおかけ致したことを、この場をお借りしてお詫び申し上げます。

いよいよ5月より始まります日本の新しい時代に向け、昨年より組織改革委員会において新しい仲間を迎えるべく、この一年間新入会員の勧誘活動を強化して参りました。

委員会のメンバーの尽力と会員皆様から頂いたご協力の結果、めでたく6名の新入会員様を迎えることができましたが、残念ながら会を去る人や私を含めた現役定年を迎える者が若干名いることを鑑みると、必ずしも青年クラブの現状を大きく打破できる結果には至らず、私の力不足をお詫びする他ございません。

しかしながら、この一年間を振り返ってみればこの伝統ある青年クラブにおいて、先輩方や仲間と共に運営に取り組んできたこの経験は、他では決して得がたい私の貴重な財産となり、また一生の思い出となったことに、皆様には心より感謝を申し上げたいと存じます。

今後もOB会員として、微力ながらこの経験を生かし当クラブの発展に協力させていただく所存でございますので、会員の皆様におかれましては、どうぞ引き続きご協力賜りますようよろしくお願い申し上げます。

そしてこれからの青年クラブを担う現役会員の皆様におかれましては、自己を研鑽する場として積極的に事業に参加され、またその運営を担い貴重な経験を積み上げることにより、必ずや当クラブの発展、延いては自らの社業の発展に繋げていくことを切に希望いたします。

最後になりましたが、会員の皆様のご健勝と社業の益々のご発展を祈念いたしまして、甚だ簡単ではございますが、私の退任の挨拶と代えさせていただきます。

平成31年4月5日

大阪薬業青年クラブ 第65代理事長

佐々木信行